

第8回小児がん中央機関アドバイザリーボード
2022年2月2日（水）14：00～17：00

小児がん中央機関 相談支援事業報告

国立研究開発法人 国立成育医療研究センター
医療連携・患者支援センター／小児がん相談支援センター

ソーシャルワーカー 鈴木 彩

小児がん中央機関 相談支援事業

- 小児がん及びAYA世代で発症するがんに関する相談支援の向上に関する体制整備を行う
 - 小児がん相談員専門研修
 - 小児がん拠点病院相談員継続研修
 - 小児がん相談員研修検討委員会
 - 小児がん拠点病院連絡協議会相談支援部会
- 小児がん患者・経験者の発達段階に応じた長期的な支援のあり方について検討する

小児がん相談員研修について

小児がん相談員研修検討委員会について

<2021年度研修検討委員>

- 小俣智子（武蔵野大学人間科学部社会福祉学科／小児がん経験者）
- 河俣あゆみ（三重大学医学部附属病院 看護部）
- 篠崎咲子（埼玉県立小児医療センター 地域連携・相談支援センター）
- 関由起子（埼玉大学教育学部学校保健学講座）
- 竹之内直子（神奈川県立こども医療センター 非常勤がん相談員）
- 田村里子（一般社団法人WITH医療福祉実践研究所）

（事務局）

- 小郷祐子（国立がん研究センター がん対策情報センター）
- 富澤大輔（国立成育医療研究センター）
- 鈴木彩（国立成育医療研究センター）

小児がん拠点病院の相談員に対する研修内容の検討を行う。

中央機関が実施する研修について

【2021年度 小児がん相談員専門研修】

- ①2021年8月1日～ Eラーニングの受講（講義1-12）
- ②2021年9月12日（日）午前：講義13-17の受講 午後：演習（2.5時間）

【小児がん拠点病院相談員継続研修】

2021年12月5日（日）午後 オンライン研修

【小児がん拠点病院相談員ブロック企画研修】

2022年3月3日（木）10:30-16:30 オンライン研修

目的：相談員としてブロックの現状や課題を把握し、ブロックにおける相談支援の質の向上を目指すための研修を企画できることを目的に開催いたします。次年度にブロックで実施する研修について、その企画を立案していただきます。

対象：厚生労働大臣の指定する小児がん拠点病院に所属し、小児がん中央機関の実施する「小児がん相談員専門研修」を修了している相談支援に携わる相談員を含む1組2-5名以内とし、各ブロックから1組のお申込みを受け付けます。

2021年度 小児がん相談員専門研修

開催日：2021年9月12日（日）

開催方法：ZoomによるWeb研修

受講者：53名

（SW26名、看護師25名、CLS1名、事務1名）

研修受講

①8月1日～ Eラーニングの受講（講義1～12）

②9月12日（日）

午前：講義13～17（5コマ）

午後：演習（2.5時間）

2021年度 小児がん相談員専門研修プログラム

事前受講 (Eラーニング)

講義1	「小児がん対策」
講義2	「小児・AYA世代のがん患者に対する相談支援センターの役割」
講義3	「小児がん概論」
講義4	「AYA世代のがん」
講義5	「血液腫瘍」
講義6	「固形腫瘍」
講義7	「脳腫瘍」
講義8	「晩期合併症と長期フォローアップ」
講義9	「小児緩和ケア」
講義10	「小児がんの子どもたちの成長発達」
講義11	「小児がん患者・きょうだいへの支援」
講義12	「教育支援」

9月12日 (日)

時間	プログラム
9:00-9:30	講義13 「小児がん患者家族を支える社会資源」
9:30-10:00	講義14 「当事者の語り」
10:00-10:30	講義15 「自立支援」
10:30-10:40	休憩
10:40-11:20	講義16 「相談支援概論」
11:20-12:00	講義17 「小児がんの相談支援の実際」
12:00-13:00	休憩
13:00-15:30	演習 (事例検討)

2015年～2021年小児がん相談員専門研修 受講者数：405名

ブロック	小児がん相談員専門研修受講者数 内訳							
	拠点病院			連携病院			その他施設	
	病院名	受講者数	ブロック毎 拠点病院 受講者数	施設数	受講 施設数	受講者 数	施設数	受講 者数
北海道 東北	北海道大学病院	7	7	15	4	7	1	0
	東北大学病院	17	17	9	6	16	0	0
関東甲信越	埼玉県立小児医療センター	9	55	41	39	96	3	9
	国立成育医療研究センター	15						
	東京都立小児総合医療センター	16						
	神奈川県立こども医療センター	15						
東海・北陸	静岡県立こども病院	20	37	17	11	22	4	0
	名古屋大学附属病院	8						
	三重大学医学部附属病院	9						
近畿	京都府立医科大学附属病院	1	30	32	22	43	2	3
	京都大学医学部附属病院	4						
	大阪市立総合医療センター	14						
	兵庫こども病院	11						
中国・四国	広島大学病院	9	9	16	11	24	1	0
九州・沖縄	九州大学病院	8	8	14	9	18	4	4
合計		163	163	144	102	226	15	16

2021年度 小児がん拠点病院相談員継続研修

開催日：2021年12月5日（日）
13：00～16：30

開催方法：ZoomによるWeb研修

研修内容：

小児がん長期フォローアップにおける相談員の役割
—きょうだいへの支援—

受講者：14拠点病院・27名

（内訳）看護師13名

SW 9名

CLS等 3名

保育士 1名

2021年度 小児がん拠点病院相談員継続研修 プログラム

- 13:00 - 13:10 開会あいさつ・研修について
- 13:00 - 14:00 小児がん患者のきょうだいの心理社会的影響
国立成育医療研究センター
こころの診療部児童・思春期リエゾン診療科 田中 恭子
- 14:00 - 14:30 病院におけるきょうだいに対する支援について
名古屋大学医学部附属病院 小児看護専門看護師 柏 勇治
- 14:40 - 15:00 経験者の立場から
- 15:05 - 16:00 グループディスカッション
- 16:00 - 16:20 全体共有（発表・意見交換）
- 16:20 - 16:25 きょうだい支援における相談員の役割
- 16:25 - 16:30 事務連絡等

来年度実施する研修について

【2022年度 小児がん相談員専門研修】

- 受講に際しては国立がん研究センターの実施する「がん相談支援センター相談員基礎研修（１）（２）」の受講が必要。
- Eラーニングと集合研修（1日）で行う。

専門研修（１）：Eラーニングによる講義受講

専門研修（２）：集合研修 講義と演習

定員100名（50名×2回）

アドバイザー・ボード

小児がん中央機関

国立成育医療研究センター

- ◎相談支援の向上に関する体制整備 (小児用カリキュラム開発)
- 情報提供
- ◎診断支援(放射線診断、病理診断等)
- ◎小児がんの登録体制の整備
- ◎人材育成(医師、看護師、心理士等)
- ◎連絡協議会(仮称)事務局

国立がん研究センター

- ◎情報提供
- 小児がんの登録体制の整備 (院内がん登録実施支援)
- 人材育成(がん専門相談員 基礎研修、院内がん登録実務者)



連絡協議会

小児がん拠点病院

地域小児がん
医療提供体制協議会

小児がん拠点病院

地域小児がん
医療提供体制協議会

小児がん拠点病院

地域小児がん
医療提供体制協議会

小児がん中央機関は
小児がん拠点病院に対し
研修を実施

小児がん拠点病院はブロックの連携病院や地域の医療機関等に対し、研修を実施

厚生労働省「小児がん拠点病院の指定に関する検討会」(一部改変)

今後の相談員研修の方向性

	今後も継続	2021年度	2022年度以降
小児がん拠点病院相談員	<p>国立がん研究センター がん相談員基礎研修 (1) (2)</p>	<p>国立成育医療研究センター主催 小児がん相談員継続研修 (2021年12月5日)</p>	<p>国立成育医療研究センター主催 小児がん拠点病院相談員ブロック企画研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブロックにおける 研修の企画・運営・開催の実現を目的とした研修 (年1回程度) ・小児がん関連の新しい知識や情報等を提供する研修 (Eラーニングの活用も検討)
小児がん連携病院相談員		<p>実施主体を 拠点病院に移行</p>	<p>ブロック内小児がん拠点病院主催 小児がん相談員研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小児がん拠点病院が主催で ブロック内連携病院の相談員等を対象に 継続的な研修を実施

相談支援部会の開催について

小児がん拠点病院連絡協議会

小児がん中央機関

国立がん研究センター
国立成育医療研究センター

小児がん拠点病院
連絡協議会

- 連絡協議会 年2回
- 相談支援部会 年2回

北海道

東北

関東甲信越

中部

近畿

中四国

九州・沖縄

ブロック
協議会

各都道府県協議会

第14回 小児がん拠点病院連絡協議会相談支援部会

日時：2021年5月28日（金）14：00～16：00

開催方法：オンライン（Zoomを使用）

出席者数：16施設（拠点病院15施設＋中央機関2施設）35名

議事

1. 小児患者体験調査の報告
2. 急性リンパ性白血病に対するCAR-T治療の現状と課題
3. 小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業について
4. 教育支援検討ワーキンググループからの報告
5. 今年度の各ブロック活動計画
6. 中央機関からの連絡
今年度の小児がん相談員向け研修について

小児がん拠点病院連絡協議会相談支援部会 教育支援検討ワーキンググループについて

小児がん拠点病院連絡協議会 相談支援部会 設置要領

(ワーキンググループ)

第5条 会長は、部会の円滑な運営を図るため、必要と認めるときは部会にワーキンググループを設け、グループ長及びグループ委員を指名することができる。

2 ワーキンググループは、グループ長及びグループ委員を指名することができる。

3 グループ長は、ワーキンググループを主宰する。

4 グループ長は、検討した結果を部会に報告し、了承を得る。

5 ワーキンググループ委員の任期については、選任の日が属する年度の末日までの期間とする。

6 ワーキンググループは、必要に応じグループ長が招集し、会議を行う。

氏名	所属等
大濱 江美子	大阪市立総合医療センター 入退院センター
白松 裕	広島大学病院 看護部
山田 佳織	名古屋大学医学部附属病院 地域連携・患者相談支援センター
志村 芳紀	埼玉県立けやき特別支援学校
鈴木 彩	国立成育医療研究センター 医療連携・患者支援センター

第2回 教育支援検討ワーキンググループ会議

日時：令和3年1月8日（金）16：00～17：30

開催：Web会議（Zoom）

議事

1. 第13回小児がん拠点病院連絡協議会
相談支援部会での意見
2. 今後のWGでの検討内容について
3. 今後の予定

第3回 教育支援検討ワーキンググループ会議

日時：令和3年3月8日（月）16：00～17：30

開催：Web会議（Zoom）

議事

1. 小児・AYA世代がん患者の教育に関する要望書（案）への意見
2. 今後の要望書のまとめ方について
3. 今後の予定

第15回 小児がん拠点病院連絡協議会相談支援部会

日時：2021年12月10日（金）13:00～16:00

開催方法：オンライン（Zoomを使用）

出席者数：16施設（拠点病院15施設＋中央機関2施設）28名

議事

1. 各ブロックからの活動報告
2. 教育支援検討ワーキンググループからの報告
3. 事前アンケートの結果について
4. 意見交換会
5. 中央機関からの連絡

小児がん拠点病院の相談員研修について

各ブロックの活動報告①

ブロック	相談支援部会	開催日時	開催方法	内容
北海道	第6回 北海道地域小児がん医療提供体制協議会 相談支援部会	2021年11月26日 (金) 15:30~17:00	WEB開催	<ul style="list-style-type: none"> ・小児がん拠点病院連絡協議会診療部門より報告 ・小児がん拠点病院連絡協議会相談支援部門より報告 ・各施設の現況 ・その他
東北	第12回 東北ブロック小児がん相談支援部会	2021年7月7日(水) 18:00~19:30	オンライン会議 (Zoomを使用)	<ul style="list-style-type: none"> ・第14回小児がん拠点病院相談支援部会報告 ・事例発表「教育支援の取り組み～高校生への支援～」 ・講義「AYA世代のがん患者の支援―意思決定支援を中心に―」 ・その他(グリーンケアのパンフレット作成について)
	第3回 東北ブロック小児がん相談支援部会特別講演会	2021年11月24日 (水) 18:00~19:30	ZOOMにて	テーマ「小児医療と緩和ケア」

各ブロックの活動報告②

ブロック	相談支援部会	開催日時	開催方法	内容
関東 甲信越	第8回関東甲信越ブロック 小児がん医療提供体制協議 会 相談支援部会	2021年10月7日 (木) 15:00~17:00	オンライン開催	<ul style="list-style-type: none"> ・関東甲信越地域小児がん医療提供体制協議会規程と相談支援部会細則について（事前配信） ・第13回・第14回小児がん拠点病院連絡協議会相談支援部会報告（事前配信） ・関東甲信越ブロック 小児がん相談支援研修報告 ・埼玉県立小児医療センターにおける妊孕性温存治療に対する取り組み ・妊孕性温存治療を受ける患者家族に対する支援 ・関東甲信越地域 妊孕性温存治療費用助成制度実態調査 ・意見交換 「妊孕性温存治療に関する相談支援についてー相談員が取り組むべきことー」
	関東甲信越ブロック 小児がん相談支援研修	2021年8月29日 (日) 13:00-16:30	オンライン開催	「がんの子どもへの教育支援における連携のあり方を考える」
東海北陸	第6回 東海北陸ブロック 小児がん診療病院 相談支援部会	8月21日(土) 14:00~16:00	ZOOMウェビ ナー	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「思春期の発達とニーズ」 ・特別講演「心の声が言葉になる」
近畿	近畿ブロック小児がん拠点 病院相談支援部会主催 小児がん相談員研修	2021年10月15日 (金) 14:00- 16:00	Zoom開催	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「小児・AYA世代患者の全人的苦痛の理解とチームアプローチ」 ・「民間のオンライン院内学級の取り組みと進路選択の支援」 ・「障がいや病気を持った方の就労について」

各ブロックの活動報告③

ブロック	相談支援部会	開催日時	開催方法	内容
中国・四国	中国・四国ブロック小児がん相談支援部会	①2021年6月26日 17:30-18:30 ②2021年12月22日 17:30-18:30	広島大学病院主催／Web開催／各病院でシステムを設置している場所	①第12回（2020年度第1回）小児がん拠点病院連絡協議会 相談支援部会報告 ・自己紹介および各施設の相談体制と現状報告 ・会の運営について ②第13回（2020年度第2回）小児がん拠点病院連絡協議会 相談支援部会報告 ・「高校の教育支援」について講義 ・各施設の小児がん相談員専門研修の受講状況について 小児がん相談員専門研修受講の周知
九州・沖縄	九州・沖縄地域小児がん医療提供体制協議会 第6回相談支援部会	2022年1月7日（金） 14:00-15:30	WEB開催	・小児がん拠点病院連絡協議会 相談支援部会の報告 ・熊本県の小児がん相談支援体制について
	第4回小児がんのこどもの教育を考える講演会	2021年9月10日（金） 17:00-19:00	WEB開催	病気療養中の小中高校生の教育の充実を求めて 現状報告・経験者の声・特別講演・ディスカッション

小児がん拠点病院連絡協議会相談支援部会 教育支援検討ワーキンググループについて

小児がん拠点病院連絡協議会 相談支援部会 設置要領

(ワーキンググループ)

第5条 会長は、部会の円滑な運営を図るため、必要と認めるときは部会にワーキンググループを設け、グループ長及びグループ委員を指名することができる。

2 ワーキンググループは、グループ長及びグループ委員を指名することができる。

3 グループ長は、ワーキンググループを主宰する。

4 グループ長は、検討した結果を部会に報告し、了承を得る。

5 ワーキンググループ委員の任期については、選任の日が属する年度の末日までの期間とする。

6 ワーキンググループは、必要に応じグループ長が招集し、会議を行う。

氏名	所属等
大濱 江美子	大阪市立総合医療センター 入退院センター
白松 裕	広島大学病院 看護部
山田 佳織	名古屋大学医学部附属病院 地域連携・患者相談支援センター
志村 芳紀	埼玉県立けやき特別支援学校
鈴木 彩	国立成育医療研究センター 医療連携・患者支援センター

教育支援検討ワーキンググループ会議

【第4回会議】

日時：令和3年6月21日（月） 15：00～16：30

開催：Web会議（Zoom）

【第5回会議】

日時：令和3年7月5日（月） 16：00～17：30

開催：Web会議（Zoom）

以降、メールにて審議を継続

小児・AYA世代がん患者の教育に関する要望書

- 1) 遠隔授業に使用するICT機器の貸出
- 2) 医療と教育の連携を行う医教連携コーディネーターの配置
- 3) 治療中に受験が必要になる患者への合理的配慮の提供
- 4) 患者の心理社会面の支援
- 5) 通学や学校内での介助

※詳細は別資料をご覧ください

第15回小児がん拠点病院連絡協議会相談支援部会事前アンケートについて

【目的】 第4期がん対策推進基本計画の策定に対し、相談支援部会からの提案を行い、提言書をまとめるため、小児がん拠点病院の相談員より意見を聴取する。

【対象】 小児がん拠点病院の相談支援センター等に配属されている相談員（各施設 1 回答）

【調査期間】 2021年11月2日（月）～11月25日（木）

【アンケート内容】

<小児がん拠点病院の役割について>

小児がん拠点病院等の整備に関する指針には小児がん拠点病院の役割が明記されています。小児・AYA世代がん患者や家族に対して拠点病院はこれらの役割を担えていると思いますか。自施設ができているかを評価するのではなく、拠点病院が小児がん患者家族に対してこれらの役割を担って対応できているかどうかという視点でご回答ください。

<相談支援センターの業務について>

小児・AYA世代がん患者家族の悩みや困りごとに対し、小児がん拠点病院等の整備に関する指針に明記されている相談支援センターのア)～コ)の業務で対応できていると思いますか。自施設ができているかを評価するのではなく、拠点病院の相談支援センターの対応で解決されているかという視点でご回答ください。

<その他の支援について>

相談支援センターは以下の項目について、対応できていると思いますか。

- 1) きょうだいも含めた家族への相談及び支援について
- 2) 患者・家族が治療の早期からがん相談支援センターの存在を認識し、必要に応じて確実に支援を受けられるようにするための積極的な広報について
- 3) 上記の業務以外で相談支援センターの業務として追加した方が良いと思うことをお聞かせください
- 4) その他、患者家族の悩みや困りごとに対して、相談支援を行う上で、課題と感じていることや、対応や解決が難しいと感じていることがあれば具体的に教えてください。

<コロナ禍の相談・支援について>

- 1) 患者さんやご家族の相談内容の変化があれば具体的に教えてください
- 2) 1)でご記入いただいたことへの対応や、支援するうえで生じる課題や困難があれば具体的に教えてください
- 3) 相談支援体制への影響（業務負担や軽減など含めた変化）があった場合、具体的に教えてください

意見交換会

①事前アンケートの結果を踏まえ、整備指針に加えた方が良いと思うことを話し合ってください。その際、整備指針のどの部分に入れるのが良いのか、またその理由も検討してください。

②第4期がん対策推進基本計画に盛り込んで欲しいと考える内容について話し合ってください。

→現在、事前アンケートと意見交換会の意見をまとめ、報告書を作成中

来年度以降の検討事項

- 相談支援体制の整備について
 - 各ブロックにおいて拠点病院が連携病院を牽引する役割が取れるよう、中央機関が拠点病院に対して研修等の機会を提供する。
 - 小児がん拠点病院が小児がん連携病院の相談支援体制の把握ができるように部会等で検討する。